黒ボク土の茶園および飼料畑における土壌成分の垂直分布

佐々木 智弘・赤木 康（宮崎県総合農業試験場）

Tomohiro SASAKI and Yasui AKAGI : Perpendicular Distribution of Mineral Nutrients in the Tea Garden and Forage Field of High-humic Andosols

1. 試験方法
試験圃場：宮崎県総合農業試験場茶業支場（川南町）
土壌条件：表層多腐植質黒ボク土（原生土）
供試作物：茶園：よきたき
飼料畑：イタリアンライグラス＋ソルゴ
試験区および処理内容

茶園の慣行区はN, P, Kを標準施し、親効性肥料A区は慣行区の1割減で総効率50%と33%の70, 50, 50日リニアイドをそれぞれ3月, 5月, 7月に施用した。また、茶園親効性肥料B区は慣行区の1割減で総効率100%の200日シーガイドを3月に施用した。飼料畑は化学肥料単用区がN, P, Kの標準施用で、実土畑を総合改良区で30kg/ha, 他の区で150kg/ha施用し、堆肥を総合改良区で2t/ha, 有機物多施用区で4t/ha施用した。

第1表 茶園の畑施用量（kg/10ha）


